

Economic Indicators

発表日: 2019年4月26日(金)

鋳工業生産指数(2019年3月)

～1-3月期は大幅減産。4-6月期も期待薄か～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

主席エコノミスト 新家 義貴 (TEL: 03-5221-4528)

(単位: %)

		鋳工業生産								資本財(除く輸送機械)		消費財	
		生産		出荷		在庫		在庫率		出荷		出荷	
		前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
17	1月	▲ 1.1	2.6	▲ 1.0	2.5	0.1	▲ 2.7	2.0	▲ 2.2	▲ 0.5	4.0	▲ 0.8	0.5
	2月	0.7	2.9	0.0	1.7	0.7	▲ 1.8	0.4	▲ 0.3	▲ 0.8	3.1	0.5	1.3
	3月	▲ 0.1	1.7	0.5	1.9	1.1	▲ 1.4	0.1	▲ 1.0	▲ 2.6	▲ 1.1	0.4	0.9
	4月	2.6	4.0	1.7	3.3	1.1	0.5	0.4	▲ 0.9	5.3	4.1	2.5	1.9
	5月	▲ 1.7	5.3	▲ 1.4	4.0	▲ 0.2	0.5	▲ 0.6	▲ 3.8	2.5	9.6	▲ 1.6	4.6
	6月	1.0	4.2	1.6	4.2	▲ 0.8	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 2.7	▲ 0.2	7.4	0.9	3.7
	7月	▲ 0.8	2.6	▲ 0.8	2.7	▲ 0.5	▲ 0.8	0.3	▲ 1.7	▲ 2.9	2.0	▲ 1.3	0.7
	8月	1.5	3.6	1.6	4.0	0.1	▲ 1.2	▲ 2.0	▲ 3.0	7.2	9.8	0.1	1.5
	9月	▲ 1.0	1.3	▲ 2.2	0.6	0.5	▲ 1.0	2.5	▲ 1.1	▲ 4.4	3.7	▲ 1.0	▲ 0.9
	10月	0.3	4.0	▲ 0.9	1.4	2.9	4.0	4.4	4.3	2.2	7.4	▲ 1.7	▲ 1.2
	11月	0.9	2.2	3.0	1.4	▲ 1.2	4.6	▲ 3.3	5.0	1.8	6.6	2.5	▲ 1.0
	12月	1.5	3.2	1.8	3.5	0.3	4.1	▲ 0.2	3.2	1.8	10.0	1.3	1.1
18	1月	▲ 4.2	1.4	▲ 4.5	1.2	▲ 0.3	3.4	3.4	4.9	▲ 2.4	8.6	▲ 3.3	▲ 0.1
	2月	2.6	0.9	1.8	0.2	0.2	3.0	▲ 1.2	4.9	▲ 1.1	3.5	2.7	0.1
	3月	1.1	2.5	1.0	0.9	2.6	5.1	1.5	6.9	2.2	10.8	▲ 0.1	▲ 0.8
	4月	▲ 0.6	1.9	0.9	2.9	▲ 1.1	3.2	▲ 2.0	2.2	3.0	10.3	0.9	1.5
	5月	0.3	3.5	▲ 1.1	3.0	0.2	3.5	2.0	4.0	▲ 4.0	4.2	▲ 1.1	0.7
	6月	▲ 1.0	▲ 1.5	0.1	▲ 0.8	▲ 1.1	2.5	▲ 0.7	5.7	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 2.3
	7月	0.1	2.4	▲ 1.2	1.1	0.3	3.3	1.2	4.5	0.1	5.4	▲ 1.1	0.3
	8月	▲ 0.2	0.6	0.9	0.9	▲ 0.1	2.9	▲ 1.0	3.5	1.5	2.5	1.6	1.9
	9月	▲ 0.1	▲ 2.5	▲ 0.9	▲ 2.9	0.2	3.5	0.8	7.1	▲ 1.6	▲ 2.0	▲ 0.4	▲ 1.4
	10月	2.0	4.2	2.3	5.7	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 0.1	▲ 1.5	4.6	7.4	▲ 0.9	2.3
	11月	▲ 0.9	1.9	▲ 1.5	1.1	0.1	0.4	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 3.3	2.2	0.6	1.4
	12月	0.1	▲ 2.0	0.3	▲ 3.1	1.3	1.7	2.6	7.4	▲ 0.6	▲ 4.8	▲ 0.9	▲ 3.8
19	1月	▲ 2.5	0.7	▲ 2.4	▲ 0.1	▲ 0.9	1.2	▲ 2.1	0.3	▲ 7.9	▲ 8.2	3.4	4.6
	2月	0.7	▲ 1.1	1.6	▲ 0.3	0.4	1.4	0.5	1.9	3.8	▲ 3.6	▲ 1.1	0.8
	3月	▲ 0.9	▲ 4.6	▲ 0.6	▲ 3.3	1.6	0.4	1.7	3.5	▲ 2.1	▲ 9.0	▲ 1.9	▲ 2.5
	4月	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5月	3.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(出所) 経済産業省「鋳工業指数」

(注) 19年4月、5月は、製造工業生産予測調査の数値

○事前予想を下回る弱い結果

経済産業省より発表された 2019年3月の鋳工業生産は前月比▲0.9%と、事前の市場予想(▲0.1%)を下回った。減産にもかかわらず在庫が前月比+1.6%、在庫率が同+1.7%と増加に歯止めがかかっていない点もネガティブ。全体的に弱い結果といえるだろう。

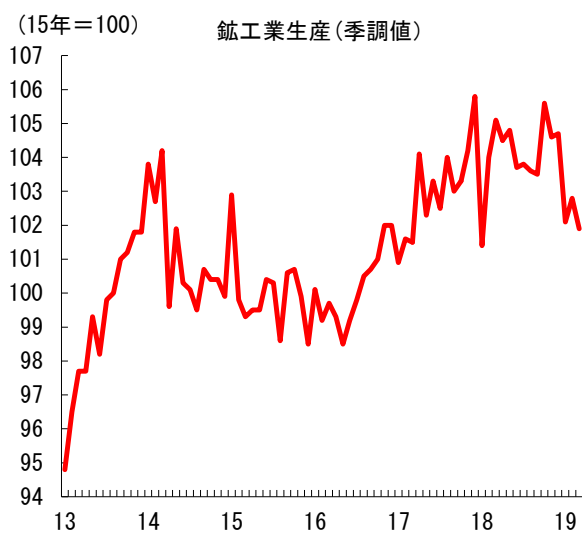
この結果、1-3月期の生産は前期比▲2.6%と、消費増税直後である14年4-6月期(前期比▲2.9%)以来のマイナス幅となった。18年10-12月期の増産(前期比+1.4%)の反動の面もあるとはいえ、かなり弱いといわざるを得ない。海外経済の減速やIT需要の不振に伴って輸出が弱含んでいることが背景にある。1-3月期を業種別にみると、全般的に落ち込んでいるが、特に電子部品・デバイス(▲9.6%)や生産用機械(▲7.7%)が弱い。足元におけるアジア向け輸出の不振が影響しているものと思われる。



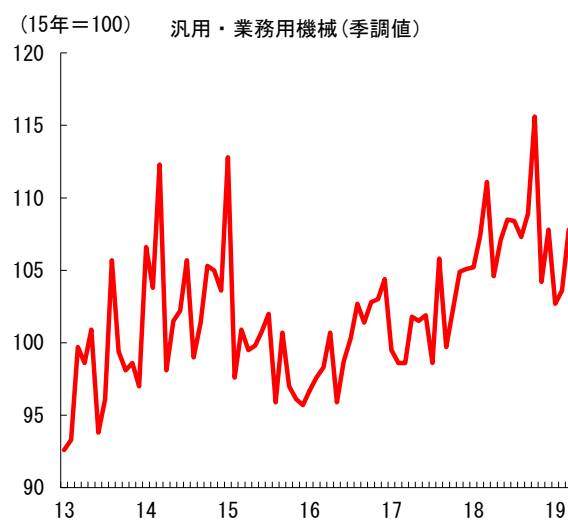
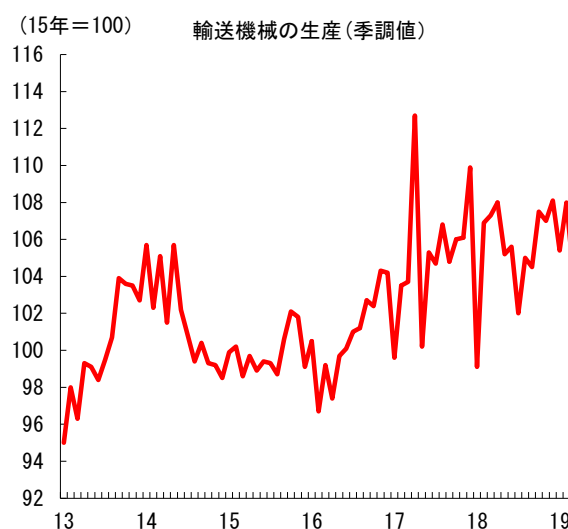
○予測指数は一見強いが・・・

同時に公表された製造工業予測指数は、4月が前月比+2.7%、5月が+3.6%と大幅な上昇が見込まれている。仮に予測指数通りであれば、4-5月平均の値は1-3月期を4.2%Pt上回ることになる。もっとも、予測指数の下振れバイアスを考慮した経済産業省の試算値では4月は前月比▲0.5%と、小幅ではあるが減産の形となっている。4月の大幅増産計画を鵜呑みにしない方が良さそうだ。ここで仮に4月が経産省試算値通り▲0.5%、5月が予測指数通り+3.6%とすれば、4-5月平均の値は1-3月期対比+1.0%と、かなり控えめな伸びとなる。

また、今年の4、5月のゴールデンウィークは異例の10連休となっており、例年と日並びが異なる。そのため、今年の季節調整はかなり難しく、どこまでこの予測指数が信用できるかは分からない。今後予想外の結果が公表されたり、6月の予測指数が大幅なマイナスとなったりする可能性にも注意が必要だろう。現在の厳しい外部環境を踏まえると、4-6月期の生産が明確に持ち直すという展望は描きにくい。慎重に見ておくのが無難と思われる。



(出所)経済産業省「鉱工業指数」



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。